

2019年度 半導体標準化専門委員会 功労賞 受賞者

○半導体パッケージング技術委員会

【功労賞】

受賞者：西 剛伺（にし こうじ）【足利大学】

<受賞理由>

熱設計サブコミティ主査として、標準化推進に顕著な働きが認められる。

国プロのメンバーとしても、海外のエキスパートとの調整や規格の翻訳、渡航しての Face to Face でのプレゼンテーションやネゴシエーションなど、パッケージングの標準化に多大なる貢献をした。

【功労賞】

受賞者：篠田 卓也（しのだ たくや）【株式会社デンソー】

<受賞理由>

熱設計サブコミティのエキスパートとして、JTAMのJEITA規格化の推進など顕著な働きが認められる。

また、二年連続で IEC 国際会議に出席し、規格化提案のプレゼンテーションを行い、海外のエキスパートに標準の必要性を説明するなど、パッケージングの国際標準化に多大なる貢献をした。

○集積回路製品技術委員会

【功労賞】

受賞者：石川 靖之（いしかわ やすゆき）【株式会社デンソー】

<受賞理由>

2012年より、集積回路製品技術委員会/半導体 EMC サブコミティに参画。WG 主査として、多数の半導体 EMC 関連 IEC 規格の規格審議・実証実験をリーディング。IEC SC47A(集積回路)WG2(EMC モデリング)/WG9(EMC 測定法)エキスパートを務めており、近年では IEC62228-7 (車載ネットワーク CXPI Transceiver 試験法) Project Leader として、IEC SC47A/WG9 に NP 提案し、日本発の IEC 規格策定に尽力。

[詳細実績]

2012年より 集積回路製品技術委員会/半導体 EMC サブコミティに参画

2014年より 同サブコミティの半導体 EMC モデリング WG 主査

2015年より現在まで

同サブコミティ半導体規格審議 WG 主査を務め、IEC SC47A/WG2, WG9 の規格審議文書に対して、JPNC の意見と投票をとりまとめ。又、半導体 EMC セミナーを通じて規格内容の正しい理解、メリット、留意点について展開活動を実施。

2017年より IEC 62228-7 (CXPI Transceiver 試験法) Project Leader となり、規格策定・実証実験に尽力。IEC SC47A/WG9 に NP 規格提案。現在 2nd CD 審議中。

2019年度半導体標準化専門委員会 功労賞 受賞者

○個別半導体製品技術委員会

【功労賞】

受賞者：平本 亜紀（ひらもと あき）【スタンレー電気株式会社】

<受賞理由>

2016年からLED規格改正PGに参加。

JEITA規格：ED-4912A(発光ダイオード)の改正に大きく貢献されると共に、2018、2019両年にはJEITA規格セミナー講師としてED-4912Aの啓蒙活動にご尽力頂いている。

また、LED硫化試験国際標準化PGにも参加し、IEC 60747-5-13 (LEDパッケージの硫化腐食試験)の新規提案・作成に貢献頂いている。2019年からは、SC47E/WG9(国際)のIEC 60747-5-13 Ed1プロジェクトリーダーとして、規格作成を主導されている。

《経歴》

- ・2016年～：LED規格改正PG委員、LED硫化試験国際標準化PG委員
- ・2018年～：個別半導体製品技術委員会 正委員、LED/IEC規格改正PG委員、IEC/SC47E/WG9 国際エキスパート
- ・2019年～：IEC 60747-5-13 Ed1 プロジェクトリーダー

○半導体信頼性技術委員会

【功労賞】

受賞者：柳原 学（やなぎはら まなぶ）【パナソニック株式会社】

<受賞理由>

信頼性技術委員会 化合物パワー試験法WGのサブリーダーとして、GaNデバイス信頼性試験方法2件、SiCデバイス信頼性試験方法2件、4件の試験方法のIECへのNP提案を行った際、規格作成に対して中心的に先導して戴き、世界で最初に化合物パワーデバイス信頼性試験方法の国際標準化NP提案を達成した。またJEDEC JC-70 Wide コミッティと規格整合を通じで、JEIA規格の有効性を説明し、JEDEC内でのJEITA規格の認識向上に貢献した。

○半導体&システム設計技術委員会

【功労賞】

受賞者：大塚 育生（おおつか いくお）【富士通アドバンステクノロジー株式会社】

<受賞理由>

★IEC 63055/ IEEE 2401LPB フォーマットの開発への貢献

- ・LPBワーキンググループ結成以来、規格内容の開発・精査・ドキュメントの作成を行ってきた

★IEC 63055/ IEEE 2401 の改訂版の策定、出版における貢献

- ・2019年版の開発にタスクグループリーダーを務め、規格書の完成に尽力し、IEEE 2401-2019の出版を達成した。

★所属会社製品での国際標準の採用

- ・自社製品のEDAツールにいち早くIEC 63055/ IEEE 2401を採用し、正式にサポートをおこなっており普及活動を自ら実践されている。

以上